

記載例4

- ① 年度当初に届いた「特別徴収税額の決定通知書」に、既に退職している等、特別徴収できない従業員の名前が記載されている場合
- ② 令和7年中に厚木市外に転出した方がいて、その方の令和8年度の給与支払報告書を転出した市区町村長宛に提出した後に、その転出した方が退職した場合

①の場合…この記載例の異動届出書を速やかに提出してください。

※ 異動届出書の提出があった場合、改めて税額変更通知書を送付します。

②の場合…厚木市にはP12の令和7年度（現年度）の異動届出書を速やかに提出してください。転出した市区町村には、この記載例の令和6年度の異動届出書を提出してください。

※ 令和7年度（令和8年5月まで）は厚木市で課税となりますが、令和8年度（令和8年6月以降）は住所変更後の市区町村で課税となります。

◎例 4・・・年度当初の通知書に、令和7年3月31日に退職済みの従業員の名前が記載されていた場合

給与支払報告書

「給与支払報告書」に○を付けてください。

賦課期日（1月1日）の住所を記載してください。

賦課期日後に住所が変わった場合は記載してください。

給与支払報告書

特 別 徴 収 に係る給与所得者異動届出書

(宛先) 厚木市長
令和 7 年 5 月 17 日提出

給付支払者(義務者)
フリガナ ケンミン ゼイタロウ
氏名 県民 税太郎
生年月日 昭和 平成 63 年 10 月 28 日
個人番号 ○○○-○○-○○○○
受給者番号 ○○○○
1月1日の現在の住所 厚木市中町丁目〇番〇号
異動後の住所 横浜市区新横浜○○○番〇号

所在地(住居地)
〒243-0018 厚木市中町丁目〇番〇号
フリガナ シミズセイショウジ
氏名又は名称 株式会社 市民税商事
個人番号又は法人番号 ○○○-○○-○○○○-○○○○

年度 1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

特別徴収義務者の指定番号 9 ○○○○
宛名番号 1
課係 総務課総務係
担当当 氏名 住民 税美
著先 電話 046 - ○○○ - ○○○○
内線(○○○)

異動年月日 7 年 1 月 31 日
異動事由 1. 退職・転職
2. 休職・長欠
3. 死亡
4. 支出少額・不定期
5. 合併・解散
6. その他理由
右の該当する番号を記入

異動後の未徴収税額の徴収方法 3
1. 特別徴収継続
2.一括徴収
3.普通徴収(本人納付)
※下記1～3の該当箇所も記載してください。

新しい勤務先へは、月額額 _____円を _____月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するように連絡済みです。
受給者番号 _____
納入書の要否(前後の場合のみ記入) □ 必要 □ 不要
1. 必要 2. 不要
右の該当する番号を記入

2. 一括徴収の場合
理由 □ 1. 異動が令和 ____年12月31日までで、一括徴収の出が出なかったため
□ 2. 異動が令和 ____年1月1日以降で、特別徴収の継続の出がないため
徴収予定日(上記(ウ)と同様) ____月 ____日 ____円
左記の一括徴収した税額は、____月分(翌月10日納入期限分)で納入します。

3. 普通徴収の場合
理由 1 1. 異動が令和 ____年12月31日までで、一括徴収の出がないため
2. 令和 ____年5月31までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため
3. 死亡による退職であるため
参市町村元金 現() 新() 年差一括ゼロ 普切 期() 相続(有・無) 納管(有・無) 特記()